

令和元年度
年 報

■ 目 次 ■

◆目的及び事業	2～3
◆令和元年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	6
IV 北海道文学に関する調査研究事業	9
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	9
VI 啓発広報事業	10
VII 刊行物の刊行事業	10
VIII その他の付帯事業	10
◆統計・資料	
I 令和元年度 展覧会別観覧状況	11
II 令和元年度 事業別利用状況	11
III 令和元年度 資料収集状況	12
◆組織及び職員	
I 組織機構図	13
II 職 員	13
◆その他	
I 文学館の歩み	14～15
II 諸会議・運営日誌	16～19
III 公益財団法人北海道文学館役員名簿	20

■ 目的及び事業 ■

●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあつては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

(休館日)

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）
- (2) 12月29日から翌年の1月3日まで

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

- 2 大学等（大学その他規則で定める学校をいう。以下同じ。）は、その学生が博物館に展示する資料（常設展示に限る。）を観覧する場合の利用料金として、年間利用料金を指定管理者に納めることができる。
- 3 前2項の規定により指定管理者に納められた利用料金及び年間利用料金（以下この条において「利用料金等」という。）は、指定管理者の収入とする。
- 4 利用料金の額は別表第1に定める額の範囲内、年間利用料金の額は別表第2に定める額の範囲内において、それぞれ指定管理者が知事の承認を受けて定める。これらを変更しようとするときも、同様とする。

別表第1（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人に 330円 つき
2 1以外の者（学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。）	960円	1人に 800円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			103,980円
講堂	15,030円	17,350円	26,640円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	1,430円	1人に 1,240円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	2,360円	1人に 1,750円 つき
3 1及び2以外の者（学齢に達しない者を除く。）	3,580円	1人に 2,780円 つき

■ 令和元年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	843 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	7,252 点
	8,095 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲覧	利用者 延 4,008 人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
常設展 北海道の文学	通年 (281 日間)	8,020	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料約 1,350 点を紹介。 (◎展示構成を次頁に掲載。)
特別展 よみがえれ！ とこしえの加清純子 ～『阿寒に果つ』ヒロ インの未完の青春～	4/13(土) ～ 5/31(金) (42 日間)	6,338	渡辺淳一『阿寒に果つ』のヒロインのモデルとして知られる加清純子(1933～52 年)。15 歳で道展に入選し、後に中央画壇にも進出。天才少女画家として注目された。また同人誌「青銅文学」に鮮烈な小説や詩を発表。しかし突如、阿寒山中で 18 歳の生涯を閉じる。 本展では加清純子の絵画や数々の資料によりその稀有な才能と人物交流を紹介し、第二次大戦後の反権威世代(アプレゲール)の青春の鼓動に耳を傾けた。
特別展 弥次さん喜多さんとたどる江戸の旅 歌川広重 ふたつの東海道五拾三次 ～保永堂版×丸清版～	6/ 8(土) ～ 8/18(日) (62 日間)	9,171	江戸幕府が開いた東海道は、参勤交代や商人のほか、伊勢参りをはじめとする旅人が往来する大動脈であった。浮世絵師・歌川広重が描いた《保永堂版 東海道五拾三次》には、旅人や宿場の様子が情緒豊かに描写され、爆発的な人気を博した。そして広重は東海道シリーズを描き続け、その数は「丸清版」を含め 20 種類以上にのぼる。 本展では、『東海道中膝栗毛』の弥次、喜多の道中を追いながら、53 の宿場を前後期に分けて「保永堂版」と「丸清版」のふたつの東海道五拾三次を同時に展示、紹介した。
特別展 ノンフィクション作家・ 保阪正康の仕事 —「昭和史」との対話	8/31(土) ～ 11/ 7(木) (60 日間)	3,634	「昭和」とは、あの「戦争」とは何だったのか。保阪正康(1939 年生まれ、札幌市出身)は、「昭和」を生きた政治家、軍人などに取材を重ね、その証言や資料で実態を読み解いてきた。『東條英機と天皇の時代』上・下(1979・80 年)、『ナショナリズムの昭和』(2016 年)など多数の著書で日本の近現代史を検証し続ける保阪正康の仕事を紹介、次代に語り継ごうとしている歴史の教訓について考えた。
ファミリー文学館 人形劇からとび出した 人形たち	11/16(土) ～ 1/13(月) (46 日間)	2,265	みんなが知っている「シンデレラ」や「オズのまほうつかい」の人形たちが文学館にやってきた。 会場では人形劇の人形の展示や、親子で楽しめる絵本コーナー、簡単な指人形を作る手作りコーナー設置。また長く札幌市民に親しまれてきた「やまびこ座」「こぐま座」の歴史も紹介した。
特別展 砂澤ビッキの詩と本棚	1/25(土) ～ 2/28(金) (30 日間)	1,390	彫刻家・砂澤ビッキ(1931～1989)の蔵書の中には、20 代の頃に鎌倉で出会った澁澤龍彦や、澁澤が翻訳したサド侯爵をはじめとするフランス文学、国内外の小説や詩集などがみられる。それらの影響は、彼が手掛けた彫刻や素描、そして詩にも表れているといえる。 本展は、砂澤ビッキの蔵書、詩作とそれに関連した彫刻・素描、そして彼と親交のあった文学者に焦点をあて、その多彩な創作活動の根底にある深い精神性をさぐった。

【常設展アーカイヴ】

- 第1期展示〔4月20日(土)～6月23日(日)〕
三浦清宏—その遙かなる文学の道
室蘭出身の小説家・三浦清宏(1930年～)の作品を紹介。
- 第2期展示〔7月9日(火)～9月23日(月)〕
原田康子—「挽歌」のころ
原田康子没後10年、ブームを興した『挽歌』の周辺を紹介。
- 第3期展示〔10月5日(土)～12月15日(日)〕
八木義徳と北海道
没後20年。「摩周湖」などをとおして北海道の風土の表現を探る。
- 第4期展示〔1月4日(土)～2月28日(金)〕
北海道ゆかりの文学 2019年の主な受賞とトピックス
北海道ゆかりの受賞者たちと受賞した作品を紹介。
～同時展示～ 新発見 原民喜の「遺書」
新たに発見された原民喜の「遺書」を中心に関連資料とともに公開。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸子』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、齋藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島藤六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亜浪、石田雨圃

子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 齋藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
講演会・セミナー・講話等	講演会「私の文学人生ー日本を脱出した青年が辿った道」 講師：三浦清宏（作家・心霊研究者）	5/6(月)		109		常設展関連事業
〃	オープニングセレモニー	4/13(土)		40		「加清純子展」関連事業
〃	記念講演会1「姉・加清純子の思い出」 講師：暮尾 淳（詩人、加清純子実弟）	4/13(土)	60	95	158.3%	〃
〃	ギャラリーツアー 講師：当館学芸員	4/20、4/21、4/29、 4/30、5/18、5/21 全6回	90	85	94.4%	〃
〃	ひとひら忌 渡辺淳一追想音楽会 出演：渡部大三郎、大平まゆみ、佐藤郁子ほか	4/30(火)	60	101	168.3%	〃
〃	上映会1「橋本奈々未の恋する文学ー冬の旅 渡辺淳一『阿寒に果つ』」	5/2(木)	60	83	138.3%	〃
〃	上映会2「もうひとつの『阿寒に果つ』ー米の自画像をたずねて」(2回)	5/4(土)	60	150	250.0%	〃
〃	記念講演会2「同級生・加清純子ーとこしえの芸術少女の魅力」 講師：荒巻義雄（SF作家）	5/12(日)	60	99	165.0%	〃
〃	展覧会企画者トーク「走れ！加清純子ー昭和20年代の青春」 講師：谷口孝男（当財団理事）	5/19(日)	60	85	141.7%	〃
〃	朗読会「加清純子をめぐって」 1 渡辺淳一「阿寒に果つ」 2 加清純子「無筆の画家」ほか 朗読：朗読ユニット ふたりしずか、鈴木栄子ほか	5/22(水)、5/23(木)	60	100	166.7%	〃
〃	オープニングセレモニー	6/8(土)		12		「歌川広重展」関連事業
〃	ギャラリー・ツアー 講師：当館学芸員	6/13、6/27、7/11、 7/25、8/8 各日2回全10回	110	156	141.8%	〃

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
講演会・セミナー・講話等	記念講演会「江戸っ子たちの旅事情」 講師：山田順子(時代考証家)	6/23(日)	60	94	156.7%	「歌川広重展」関連事業
〃	特別展おもしろセミナー「広重とたどる、東海道名所・名産めぐり」講師：当館学芸員	6/29(土)	60	33	55.0%	〃
〃	職人実演会「よみがえる東海道五拾三次一浮世絵摺師のわざ」 実演・解説：三田村努(江戸伝承浮世絵手刷木版画摺師)	7/21(日) 2回	120	124	103.3%	〃
〃	オープニングセレモニー	8/31(土)		40		「保阪正康展」関連事業
〃	文芸講演会I「私の仕事の流儀」 講師：保阪正康(ノンフィクション作家)	8/31(土)	70	94	134.3%	〃
〃	文芸対談「ノンフィクションと歩む」 講師：保阪正康、梯久美子(ノンフィクション作家)	9/22(日)	70	211	301.4%	〃
〃	文芸講演会II「歴史に学び伝える」 講師：保阪正康(ノンフィクション作家)	10/12(土)	160	215	134.4%	〃
〃	人形劇公演「おいもの兄弟」「サンポのおはなし」 腹話術「あっちゃんとおそぼう」 出演：人形劇団ブランコ	11/17(日)	50	83	166.0%	「ファミリー文学館」関連事業
〃	人形劇公演「だるまちゃんてんぐちゃん」ほか 出演：人形劇団ひよっこ	11/24(日)	50	65	130.0%	〃
〃	人形劇公演「わらのうし」「シンデレラ」 出演：やまびこ座・こぐま座パペットユーススクール	12/ 1(日)	50	94	188.0%	〃
〃	ワークショップ「人形造り」 出演：やまびこ座・こぐま座パペットユーススクール	12/ 1(日)		58		〃
〃	人形劇公演「うさぎのいえ」ほか 出演：人形劇団てんてこまい	12/ 7(土)	50	38	76.0%	〃
〃	人形劇公演「ぼくはガリガリ」ほか 出演：人形劇団えりっこ(札幌市：専門劇団)	12/14(土)	50	46	92.0%	〃
〃	人形浄瑠璃公演「二人三番叟」「東海道中膝栗毛 卵塔場の段」「祝い唄」 出演：さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座	1/ 9(木)	50	62	124.0%	〃
〃	ワークショップ「三人遣い体験」 出演：さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座	1/ 9(木)		46		〃
〃	オープニングセレモニー	1/25(土)		50		「砂澤ビッキ展」関連事業
〃	オープニング・トーク「砂澤ビッキの遺したもの」 講師：砂澤涼子(砂澤ビッキ夫人)、工藤正廣(当館館長)、浅川泰(当財団理事)	1/26(日)	70	95	135.7%	〃
〃	文芸マチネー 朗読&トーク「砂澤ビッキと江原光太との交友から 詩人たちとの出会い」 朗読：田村英一(元・北海道放送アナウンサー)、 解説：浅川泰(当財団理事)	2/ 8(土)	60	65	108.3%	〃
〃	ギャラリー・ツアー 講師：当館学芸員	2/15、2/22 (中止3/14)	30	21	70.0%	〃
〃	講演会I「砂澤ビッキの本棚」 講師：酒井忠康(美術評論家・世田谷美術館館長)	2/23(日) 中止	70	0	0.0%	〃
〃	講演会II「砂澤ビッキと澁澤龍彦 その文学的・芸術的交友から」 講師：巖谷國士(仏文学者・作家・美術評論家)	3/ 7(土) 中止	70	0	0.0%	〃
夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」	7/31(水)～8/2(金)	30	15	50.0%	

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
小・中・高生短歌コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、当館ロビーに作品展示	募集 7/2(火)~9/10(火) 展示 12/7(土)~1/26(日)	3,700	6,132	165.7%	
〃	小・中・高生短歌コンテスト表彰式	12/ 7(土)		51		
ファミリー文学館	ワークショップ「手作りコーナー」 講師：当館職員	11/16(土) ~1/13(月)	100	320	203.0%	
わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	14 回開催 (3/1中止)	600	327	54.5%	
映像作品鑑賞のつどい	「愛と死を見つめて」	5/26(日)	60	35	58.3%	
〃	「真夜中の弥次さん喜多さん」	7/28(日)	60	85	141.7%	
〃	「日本のいちばん長い日」	9/15(日)	60	75	125.0%	
〃	「聖の青春」	11/10(日)	60	38	63.3%	
市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	18 市町村 20 会場	1,500	1,304	86.9%	
市町村連携事業 「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	6 市町村 6 会場	1,300	2,229	171.5%	
文字・活字文化 振興事業	「北海道文学館公開歌会・句会」 出演：(コーディネーター) 月岡道晴 <パネリスト> 大塚亜希、五十嵐秀彦、浪越靖政 <実作者> 短歌、俳句、川柳各 2 名	10/27(日)	70	61	87.1%	
古典の日記念朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵	11/ 2(土)	80	62	77.5%	
月例朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループさ・く・らほか	年 9 回 (3/12 中止)	600	461	76.8%	
文化施設連携事業	「カルチャーナイト 2019」 展示室の夜間開館、講演と落語、コンサート等を実施	7/19(金)	320	316	98.8%	
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年 (281 日間)	1,500	4,008	267.2%	
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用 (貸館)	通年 (281 日間)		1,163		
負担金事業計			11,800	19,331	163.8%	
※ 文学館カレッジ	・俳句の世界、画像でたどる好短篇、絵本、生涯読書会、川柳講座の 5 講座	5~ 2月	500	462	92.4%	
※ 文学館カレッジ講演会	「芥川賞受賞作家・三浦清宏さん<卒寿>記念トーク」(鼎談) 講師：三浦清宏(小説)、工藤正廣(当館館長)ほか	10/ 6(日)	150	60	40.0%	
※ ロビーコンサート	「秋の夜の音楽会パートⅠ」 「秋の夜の音楽会パートⅡ」	11/2(土)、11/3(日)	120	124	103.3%	
※ 中島公園 ぶんがく縁日 2019	同人誌・図書等のフリーマーケット、公開歌会・句会、文芸トーク	10/13(日)、 10/14(月)	200	293	146.5%	
※ ぶらり文学散歩	身近な土地と文学の関わりを解説	6/18(火)、9/10(火)、 10/29(火) 全 3 回	30	27	90.0%	
※ 文学館まつり	講演会、親子手作りコーナー、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(月)	300	110	36.7%	
※ ロビー展示	文学への関心等を促すため収蔵品資料等を展示	4/23~7/7、7/13~ 9/23、10/5~11/24、 2/12~2/28 全 4 回		17,214		
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年 (281 日間)	100	64	64.0%	
※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	600	510	85.0%	
自主企画事業計			2,000	18,864	943.2%	
			13,800	38,195	276.8%	

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別展「よみがえれ！とこしえの加清純子」展関連資料調査
- ② 特別展「歌川広重 ふたつの東海道五拾三次」展関連資料調査
- ③ 特別展「ノンフィクション作家・保阪正康の仕事」展関連資料調査
- ④ ファミリー文学館「人形劇からとび出した人形たち」展関連資料調査
- ⑤ 特別展「砂澤ビッキの詩と本棚」展関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「『ねないこだれだ』誕生 50 周年記念せなけいこ展」関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「太宰治 創作の舞台裏」展関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「作家たちの交差点—『北の話』が残した時間」展関連資料調査
- ⑩ 次年度のファミリー文学館「おいしい！美味しい!! 文学」展関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「天災地変人禍に抗す—北海道の災害記録と文学—」関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

- ① 中川町教育委員会
斎藤茂吉記念第 26 回中川町短歌フェスティバル
(令和元年 6 月 1 日～7 月 20 日 中川町)
- ② 間宮匠マンドリンリサイタル実行委員会
間宮匠マンドリンリサイタル
(令和元年 6 月 2 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ③ 新緑のバロック実行委員会
新緑のバロック
(令和元年 6 月 20 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ④ エンサラーダス・デ・ムジカ
双弦と歌～風に乗って届け古の旋律よ
(令和元年 6 月 23 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑤ 松田弦ギターリサイタル実行委員会
松田弦ギターリサイタル
(令和元年 7 月 15 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ ヴァイオリン&クラシックギター「奏の調和」実行委員会
ヴァイオリン&クラシックギター「奏の調和」
(令和元年 9 月 8 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑦ 北海道スウェーデン協会
北欧と風のささやき ダニエル・ウィクスルンドコンサート
(令和元年 10 月 3 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑧ NHK 文化センター朗読教室 松井信子クラス
第 21 回 北海道ゆかりの文学を読む 朗読会
(令和元年 10 月 20 日 北海道立文学館講堂)

- ⑨ 札幌アマデウス室内合奏団
札幌アマデウス室内合奏団 2019・演奏会
(令和元年 11 月 16 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑩ 特定非営利活動法人絵本・児童文学研究センター
絵本・児童文学研究センター 第 24 回文化セミナー「はじまりの日」
(令和元年 11 月 17 日 小樽市民センター (マリンホール))
- ⑪ オーボエとピアノの奏実行委員会
オーボエとピアノの奏
(令和元年 11 月 24 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑫ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室
朗読とショパンなハーブたち
(令和元年 11 月 26 日 札幌市時計台ホール)

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催を PR するため、新聞紙上で有料広告のほか TV スポット CM を行った。
- ② 「北海道文学館報」第 117 号(5 月 9 日付)、第 118 号(8 月 2 日付)、第 119 号(10 月 23 日付)、第 120 号(3 月 10 日付)を発行した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「よみがえれ!とこしえの加清純子 画と文と」の刊行
- ② 特別展「ノンフィクション作家・保阪正康の仕事―「昭和史」との対話」図録の刊行
- ③ 特別展「砂澤ビッキの詩と本棚」パンフレットの刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入
博物館実習生—15 名(受入期間 5 月～3 月。実習期間 2 週間)

■ 統計・資料 ■

I 令和元年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区分	常設展		特別展				計
	北海道の文学	加清純子展	歌川広重展	保阪正康展	ファミリー文学館	砂澤ビッキ展	
開催日数	281	42	62	60	46	30	
有 人 料	一般	546	4,744	3,046	2,239	355	10,930
	高大生	77	66	130	36	21	330
	小中生		13	125	6		144
	小計	623	4,823	3,301	2,281	0	11,404
	一般	562	237	4,197	181	63	5,240
	高大生	152	44	93	49	13	351
	小中生			48			48
小計	714	281	4,338	230	0	76	5,639
免除・招待	6,683	1,234	1,532	1,123	2,265	938	13,775
観覧者総数	8,020	6,338	9,171	3,634	2,265	1,390	30,818

II 令和元年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月別												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
負 担 金 事 業	常設展	740	1,005	763	982	871	753	817	686	423	477	503		8,020
	加清純子展	1,981	4,357											6,338
	歌川広重展			2,143	4,003	3,025								9,171
	保阪正康展					113	1,314	1,503	704					3,634
	ファミリー文学館								637	1,149	479			2,265
	砂澤ビッキ展										376	1,014		1,390
	小計	2,721	5,362	2,906	4,985	4,009	2,067	2,320	2,027	1,572	1,332	1,517	0	30,818
	講演会・セミナー・講話等	297	650	183	206	164	211	215			145	86		2,157
	文学道場				5	10								15
	小中高生短歌コンテスト							6,132			51			6,183
	ファミリー文学館								256	374	182			812
	映像作品鑑賞のつどい		35		85			75		38				233
	地域連携事業 「文学館出前講座」			91	216	52	165	160	84	306	55	175		1,304
	地域連携事業 「ミニ巡回展」				389	262	1,224			247	107			2,229
	文字活字文化振興事業								61					61
	古典の日記念朗読会									62				62
	月例朗読会		51	50	77	50	50	49	30	44		60		461
	わくわくこどもランド		66	5	18	37	28	25	37	70	26	15		327
	文化施設連携事業 カルチャーナイト 2019				316									316
	文学資料の利用 (資料閲覧・共同研究)	421	493	395	464	350	362	348	337	227	332	279		4,008
小計	718	1,386	1,238	1,485	2,000	7,018	782	1,313	928	860	440	0	18,168	
文学愛好団体の文学活動	23	92	105	70	95	70	432	138	12	96	30		1,163	
計	741	1,478	1,343	1,555	2,095	7,088	1,214	1,451	940	956	470	0	19,331	
負担金事業計	3,462	6,840	4,249	6,540	6,104	9,155	3,534	3,478	2,512	2,288	1,987	0	50,149	
自 主 企 画 事 業	文学館カレッジ		20	54	57	56	56	54	39	35	44	47		462
	文学館カレッジ講演会							60						60
	ロビーコンサート								124					124
	中島公園ふんがく縁日							293						293
	ぶらり文学散歩				8			10	9					27
	文学館まつり (9/23)						110							110
	ロビー展示	1,644	3,372	1,781	2,388	2,343	1,179	1,645	2,276			586		17,214
	文学館探検クイズ	3	5	5	4	17	2	0	2	18	2	6		64
	文化公演の活動 (コンサート、朗読会)			128	72		100	32	178					510
	自主企画事業計	1,647	3,397	1,976	2,521	2,416	1,457	2,093	2,619	53	46	639	0	18,864
ボランティア活動状況	0	13	3	11	4	6	23	3	9		18		90	
その他 (喫茶コーナー)	245	524	259	275	257	191	272	173	54	121	151		2,522	
合計	5,354	10,774	6,487	9,347	8,781	10,809	5,922	6,273	2,628	2,455	2,795	0	71,625	

※ 2月29日～3月31日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

Ⅲ 令和元年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

区 分	購 入	寄 贈	合 計
図 書 資 料	392	3,142	3,534
雑 誌 資 料	447	3,258	3,705
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	0	0	0
特 別 資 料	4	852	856
計	843	7,252	8,095

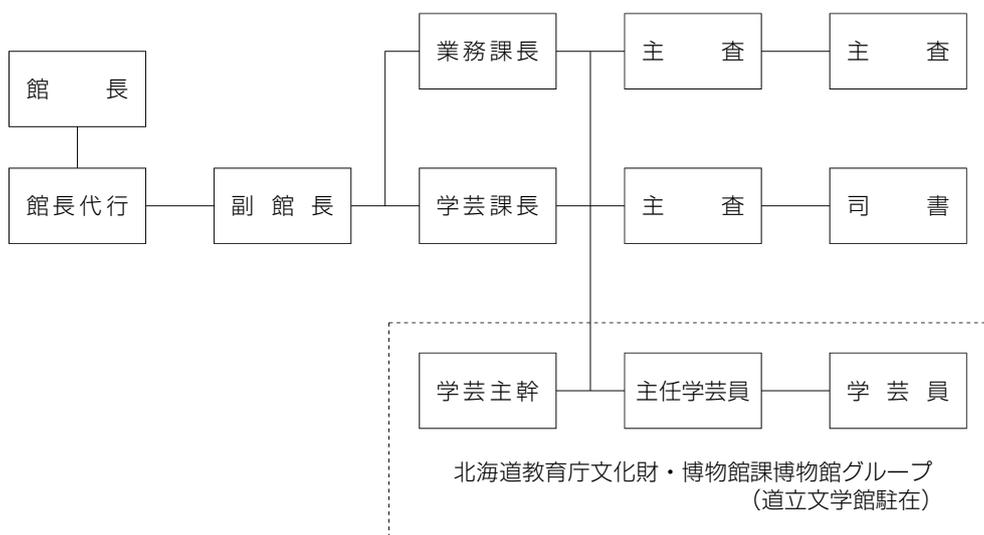
〈主な収集特別資料〉

更科源蔵旧蔵 昭和2年雑記帳（寄せ書き） 1点購入
 小熊秀雄関係資料（パンフレット、原稿） 3点購入

財団法人北海道文学館への主な寄贈資料 加清純子絵画作品「ほうづきと日記」「鱒」など 子母澤寛自筆原稿「おばあちゃんの記」（400字詰め4枚） 森田たま自筆原稿「寝台車の中で」（400字詰め3枚） 保阪正康自筆原稿「昭和史の大河を往く 最強師団の宿命17」など	15点受贈 1点受贈 1点受贈 3点受贈
---	-------------------------------

■ 組織及び職員 ■

I 組織機構図



II 職員

(令和2年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名		
館長	工藤正廣	学芸課 主査	丹伊田 範子		
館長代行 (財団副理事長)	武田信吾	学芸課 司書	三井沙紀		
副館長 (財団専務理事)	野村六三	北海道教育庁文化財・博物館課 博物館グループ (道立文学館駐在)			
業務課長 (財団常務理事)	高塚信之				
業務課 主査	丹羽則孝			学芸主幹	光岡幸治
業務課 主査	佐々木孝夫			学芸員	寺地亜衣
学芸課 課長	苫名直子			学芸員	竹中七帆

■ その他 ■

I 文学館の歩み

年次	事 項	年次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展		津川)、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新墾」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
43	文学に見る北方風物展		3 市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60周年記念齋藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
44	北海道旅の文学展		4 設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記(室蘭)、北の文学風物誌展(冬の巻)、らいらっく文学賞展
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展		5 俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
46	北海道詩歌展		6 文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展
47	目で見える札幌文学散歩		〔北海道立文学館〕
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展		7 北海道立文学館管理運営業務開始(財団法人北海道文学館受託)
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展		北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち(澤田誠一理事長就任)
50	札幌の作家展(戦前の巻)、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展(戦後の巻)、川柳に見る戦後の札幌展		8 特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展		9 特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展		10 特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展		11 特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』
54	札幌市資料館に館看板揭示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行		12 特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——		13 特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～、特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のアヴァンギャルド～、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		14 特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド～きらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”～根室と霧と芸術家たち～(神谷忠孝理事長就任)
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		15 特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		特別企画展・函館—青森海峡浪漫～〈北の20世紀〉を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		16 特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学に見る北方風物展、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展、(和田謹吾理事長就任)		
62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展		
63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立		
平成元	胆振文学展・目で見える風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展(札幌、旭川)		
2	児童文学「新十津川物語」展(札幌、新十		

年次	事項	年次	事項
	特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く——山田秀三の地名研究から——、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神 発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～		期の詩集～、特別展・いせひでこ・絵本の世界—私の木、心の木、ファミリー文学館 幻想文学館 文豪たちのこわ～い話、特別展・新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界、特別展・戦後北海道の演劇、特別展・高橋揆一郎の文学
17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～	25	常設展プレミアム・木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド、特別展・紙芝居の今昔、ファミリー文学館 絵本・カムイの物語、特別展・挿絵が僕らにくれたもの——ジブリが読み解く“通俗文化の源流”——、特別展・ほっかいどうの短歌100首、特別展・荒巻義雄の世界——都市型宇宙船ニュー・ユートピア・シティにむかって
18	北海道立文学館指定管理者制度開始（財団法人北海道文学館指定） 特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトポス～旅する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎・里見淳と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～	26	北海道立文学館指定管理者（公益財団法人北海道文学館指定） 「氷点」50年 三浦綾子フォトメモリアル——後山一朗が撮り続けた約束の刻、特別展・FROM HAND TO HAND 手から手へ展、特別展・ムーミンの世界展～ヤンソンさんからの贈り物～、ファミリー文学館“うま”とあそぼう!!、特別展・小樽山博の文学——野性よ退化する現代を撃て——（工藤正廣理事長就任）
19	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であったころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書齋から～	27	特別展・没後1年・渡辺淳一の世界——『白夜』の青春 リラ冷えを往く、特別展・挿絵の美・大衆文化の黄金時代——大正イマジユリイの世界——、特別展・没後50年文豪・谷崎潤一郎——愛と美を求めて、ファミリー文学館 ネコ！ねこ！猫!!、特別展・「さとぼろ」発見 大正 昭和・札幌芸術雑誌にかけた夢
20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望す—八木義徳	28	特別展・〈青春の記憶 夢みる力〉佐藤泰志の場所（トポス）、特別展・ミッフィーのたのしいお花畑～ディック・ブルーナが描くお花と絵本の世界展、特別展・2016年の宮沢賢治——科学と祈りのこころ、ファミリー文学館・「ワン！ニャン！どっちも大好き」、特別展・「手仕事の日本」と民藝の思想
21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」——60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。——アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む——遙か〔樺太〕の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ	29	特別展・ふみくらの奥をのぞけば——文学館・珠玉の300選、特別展・「北方文芸」と道内文学同人誌の光芒、特別展・《サハリン島》2017——アントン・チェーホフの遺産、ファミリー文学館「絵本の動物園へようこそ」、特別展・有島武郎と未完の『星座』
22	北海道立文学館指定管理者（財団法人北海道文学館指定） 常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事～“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展～伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてびっくり！しかけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし	30	北海道立文学館指定管理者（公益財団法人北海道文学館指定） 特別展・没後50年 子母澤寛 無頼三代蝦夷の夢、特別展・戦没画学生慰霊美術館「無言館」展、特別展・極の誘ひ 詩人吉田一穂展——あゝ麗はしい距離、ファミリー文学館「大本壺の版画でたどる北海道四季の風景」、特別展・北海道の俳句～どこから来て、どこへ行くのか～（平原一良理事長就任）
23	特別展・追悼・後藤竜二展～子どもたちへの応援歌～高田三郎・小泉のみ子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは～福永武彦、魂の旅～、ファミリー文学館・絵本の原画を運ぼう！～現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋～林静一展、常設展プレミアム・森田たまたの交友録——書簡にみる文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学、（公益財団法人北海道文学館に名称変更）	令和元	特別展・よみがえれ！とこしえの加清純子～『阿寒に果つ』ヒロインの未完の青春～、特別展・歌川広重 ふたつの東海道五拾三次～保永堂版×丸清版～、特別展・ノンフィクション作家・保阪正康の仕事——「昭和史」との対話、ファミリー文学館「人形劇からとび出した人形たち」、特別展・砂澤ビッキの詩と本棚
24	常設展プレミアム・書物の美～明治・大正		

II 諸会議・運営日誌

平成31年

- 4月13日(土) 特別展「よみがえれ!とこしえの加清純子——『阿寒に果つ』ヒロインの未完の青春——」
オープン(～5月31日)
- 4月13日(土) 記念講演会1「姉・加清純子の思い出」(講師:暮尾淳)
- 4月20日(土) 常設展アーカイブ第1期「三浦清宏——その遙かなる文学の道」(～6月23日)
- 4月20日(土) ギャラリーツアー
- 4月21日(日) ギャラリーツアー
- 4月23日(火) 第1回ロビー展示「北海道の短歌」(～7月7日)
- 4月29日(月) ギャラリーツアー
- 4月30日(火) 「ひとひら忌 渡辺淳一追想音楽会」(出演:渡部大三郎、大平まゆみ、佐藤郁子、青木晃一、坪田亮)
- 4月30日(火) ギャラリーツアー

令和元年

- 5月2日(木) 上映会1「橋本奈々未の恋する文学——冬の旅 渡辺淳一『阿寒に果つ』」
- 5月4日(土) 上映会2「もうひとつの『阿寒に果つ』——氷の自画像をたずねて」
- 5月5日(日) わくわくこどもランド(こどもの日スペシャル「人形劇」(出演:人形劇団ブランコ))
- 5月5日(日) わくわくこどもランド(こどもの日手作りコーナー「こいのぼりをつくろう!」)
- 5月6日(月) 講演会「私の文学人生——日本を脱出した青年が迎った道」(講師:三浦清宏)
- 5月9日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:ドラマチックリーディンググループ蔵)
- 5月11日(土) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(今金町、講師:岸田典大)
- 5月12日(日) 記念講演会2「同級生・加清純子——とこしえの芸術少女の魅力」(講師:荒巻義雄)
- 5月18日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 俳句で日本の原風景をふりかえる、講師:工藤正廣)
- 5月18日(土) ギャラリーツアー
- 5月19日(日) 展覧会企画者トーク「走れ!加清純子——昭和20年代の青春」(講師:谷口孝男)
- 5月19日(日) 文学館出前講座「絵本の読み聞かせ」(伊達市、講師:当館職員、ボランティア)
- 5月21日(火) ギャラリーツアー
- 5月22日(水) 朗読会「加清純子をめぐって1 渡辺淳一『阿寒に果つ』」(朗読:朗読ユニットふたりしずか)
- 5月23日(木) 朗読会「加清純子をめぐって2 加清純子「無筆の画家」、加清蘭「北風の街」ほか」(朗読:鈴木栄子、上埜きみ子、五島由)
- 5月25日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅷ、講師:岡崎守)
- 5月26日(日) 映像作品鑑賞のつどい「愛と死を見つめて」
- 5月27日(月) ミニ巡回展「ワン!ニャン!どっちも大好き」(～6月7日、札幌市)
- 6月1日(土) ミニ巡回展「ワン!ニャン!どっちも大好き」(～7月25日、泊村)
- 6月2日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせほか)
- 6月2日(日) 公演「間宮匠マンドリンリサイタル」
- 6月6日(木) 文学館出前講座「詩人吉田一穂入門」(木古内町、講師:平原一良)
- 6月8日(土) 特別展「歌川広重 ふたつの東海道五拾三次～保永堂版×丸清版～」オープン(～8月18日)
- 6月8日(土) ミニ巡回展「砂川にゆかりの俳句 細谷源二を中心に」(～6月30日、砂川市)
- 6月13日(木) ギャラリー・ツアー
- 6月13日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:朗読表現 ゆうの会)
- 6月15日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 俳句で日本の原風景をふりかえる、講師:工藤正廣)
- 6月15日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう——外国絵本作家その1、講師:杉浦篤子)
- 6月18日(火) ぶらり文学散歩「開拓使札幌本庁舎・赤れんが庁舎余話」
- 6月20日(木) 公演「新緑のバロック」

- 6月21日(金) 文学館カレッジ(児童文学創作教室、講師：柴村紀代)
- 6月22日(土) 文学館カレッジ(再読：20世紀北海道の文芸作品、講師：平原一良)
- 6月22日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅷ、講師：岡崎守)
- 6月23日(日) 記念講演会1「江戸っ子たちの旅事情」(講師：山田順子)
- 6月23日(日) 公演「双弦と歌～風に乗って届け古の旋律よ」
- 6月26日(水) 文学館出前講座「愉快地川柳講座」(網走市、講師：岡崎守)
- 6月27日(木) ギャラリー・ツアー
- 6月29日(土) 特別展おもしろセミナー「広重とたどる、東海道名所・名産めぐり」(講師：当館職員)
- 7月2日(火) 第14回北海道小・中・高生短歌コンテスト応募受付開始(～9月10日)
- 7月7日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演：読み聞かせボランティア「にじいろ」)
- 7月9日(火) 常設展アーカイブ第2期「原田康子——「挽歌」のころ」(～9月23日)
- 7月11日(木) ギャラリー・ツアー
- 7月11日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読を楽しむ会)
- 7月13日(土) 第2回ロビー展示「戦争と文学Ⅱ」(～9月23日)
- 7月15日(月) 公演「松田弦ギターリサイタル」
- 7月19日(金) カルチャーナイト2019(常設展・特別展夜間開館、古書バザール、講演と落語など)
- 7月20日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 俳句で日本の原風景をふりかえる、講師：工藤正廣)
- 7月20日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう——外国絵本作家その1、講師：柴村紀代)
- 7月21日(日) 職人実演会「よみがえる東海道五拾三次——浮世絵摺師のわざ」(講師：三田村努)
- 7月23日(火) ミニ巡回展「ネコ！ねこ！猫!!」(～8月23日、上川町)
- 7月25日(木) ギャラリー・ツアー
- 7月26日(金) 文学館カレッジ(児童文学創作教室、講師：三浦幸司)
- 7月27日(土) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(比布町、講師：岸田典大)
- 7月27日(土) 文学館カレッジ(再読：20世紀北海道の文芸作品、講師：野村六三)
- 7月27日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅷ、講師：岡崎守)
- 7月28日(日) 映像作品鑑賞のつどい「真夜中の弥次さん喜多さん」
- 7月31日(水) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」(講師：小路幸也)(～8月2日)
- 8月4日(日) わくわくこどもランド(夏休みスペシャル 絵本の読み聞かせほか、出演：読み聞かせボランティア、手島慶子)
- 8月6日(火) わくわくこどもランド(手作り教室・紙芝居をつくろう！)(～7日)
- 8月8日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読 糸の会)
- 8月8日(木) ギャラリー・ツアー
- 8月11日(日) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(余市町、講師：岸田典大)
- 8月12日(月) わくわくこどもランド(手作り教室・サマーブックをつくろう！)
- 8月16日(金) 文学館カレッジ(児童文学創作教室、講師：三浦幸司)
- 8月17日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 俳句で日本の原風景をふりかえる、講師：工藤正廣)
- 8月17日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう——外国絵本作家その1、講師：久保田知恵子)
- 8月24日(土) 文学館カレッジ(再読：20世紀北海道の文芸作品、講師：野村六三)
- 8月24日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅷ、講師：岡崎守)
- 8月26日(月) 文学館出前講座「短歌創作ワークショップ」(旭川市、講師：田中綾)
- 8月31日(土) 特別展「ノンフィクション作家・保阪正康の仕事——『昭和史』との対話」オープン(～11月7日)
- 8月31日(土) 文芸講演会Ⅰ「私の仕事の流儀」(講師：保阪正康)
- 9月1日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演：読み聞かせボランティア「赤ちゃん広場こぶたのぶーぶ」)
- 9月8日(日) 公演「ヴァイオリン&クラシックギター「奏の調和」
- 9月10日(火) ぶらり文学散歩「明治40年秋——石川啄木の札幌を歩く」
- 9月12日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵)

- 11月16日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会 俳句で日本の原風景をふりかえる、講師：工藤正廣)
- 11月16日 (土) 公演「札幌アマデウス室内合奏団 2019・演奏会」
- 11月17日 (日) 人形劇公演・腹話術「おいもの兄弟、サンボのおはなしほか」(出演：人形劇団ブランコ)
- 11月20日 (水) 文学館出前講座「やさしい川柳入門」(千歳市、講師：瀬戸優理子)
- 11月24日 (日) 人形劇公演「だるまちゃんてんぐちゃんほか」(出演：人形劇団ひよっこ)
- 11月24日 (日) 公演「オーボエとピアノの奏」
- 11月30日 (土) 文学館カレッジ (再読：20世紀北海道の文芸作品、講師：平原一良)
- 11月30日 (土) 文学館カレッジ (愉快に川柳講座Ⅷ、講師：岡崎守)
- 12月1日 (日) 人形劇公演「わらのうしほか」(出演：やまびこ座・こぐま座パペットユーススクール)
- 12月3日 (火) ミニ巡回展「ワン!ニャン!どっちも大好き」(～10日、枝幸町)
- 12月7日 (土) 人形劇公演「うさぎのいえほか」(出演：人形劇団てんてこまい)
- 12月7日 (土) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(剣淵町、講師：クレヨンカンパニー)
- 12月7日 (土) 第14回北海道小・中・高生短歌コンテスト表彰式・作品展示 (～1月26日)
- 12月8日 (日) わくわくこどもランド (手作り教室・ツリーをつくろう!)
- 12月12日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読を楽しむ会)
- 12月14日 (土) 人形劇公演「ぼくはガリガリ」(出演：人形劇団えりっこ (札幌市：専門劇団))
- 12月15日 (日) わくわくこどもランド (手作り教室・すごろくをつくろう!)
- 12月20日 (金) 文学館カレッジ (児童文学創作教室、講師：升井純子)
- 12月21日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会 俳句で日本の原風景をふりかえる、講師：工藤正廣)
- 12月21日 (土) 文学館カレッジ (愉快に川柳講座Ⅷ、講師：岡崎守)
- 12月22日 (日) わくわくこどもランド (クリスマススペシャル「絵本の読み聞かせほか」、出演：読み聞かせボランティア「トムテ」)

令和2年

- 1月4日 (土) 常設展アーカイブ第4期「北海道ゆかりの文学 2019の主な受賞とトピックス、～同時展示～ 新発見 原民喜の「遺書」」(～2月28日)
- 1月9日 (木) 人形浄瑠璃公演・ワークショップ「二人三番叟ほか」(出演：さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座)
- 1月11日 (土) 文学館出前講座「人形劇と腹話術」(帯広市、講師：人形劇団ブランコ)
- 1月12日 (日) わくわくこどもランド (手作り教室・カルタをつくろう!)
- 1月17日 (金) 文学館カレッジ (児童文学創作教室、講師：升井純子)
- 1月18日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会 俳句で日本の原風景をふりかえる、講師：工藤正廣)
- 1月25日 (土) 特別展「砂澤ビッキの詩と本棚」オープン (～2月28日)
- 1月25日 (土) 文学館カレッジ (再読：20世紀北海道の文芸作品、講師：中澤千磨夫)
- 1月25日 (土) 文学館カレッジ (愉快に川柳講座Ⅷ、講師：岡崎守)
- 1月26日 (日) オープニング・トーク「砂澤ビッキの遺したもの ― 蔵書、言葉、写真・映像」(講師：砂澤涼子、工藤正廣、浅川泰)
- 2月2日 (日) わくわくこどもランド (絵本の読み聞かせほか、出演：札幌静修高等学校読み聞かせボランティア)
- 2月8日 (土) 文学マチネー ― 朗読&トーク「砂澤ビッキと江原光太との交友から 詩人たちの出会い」(出演：田村英一、浅川泰)
- 2月12日 (水) 第4回ロビー展示「詩い描く表現者たち」(～2月28日)
- 2月13日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵)
- 2月15日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会 俳句で日本の原風景をふりかえる、講師：工藤正廣)
- 2月15日 (土) ギャラリー・ツアー
- 2月21日 (金) 文学館カレッジ (児童文学創作教室、講師：柴村紀代)
- 2月22日 (土) 文学館カレッジ (再読：20世紀北海道の文芸作品、講師：若宮明彦)
- 2月22日 (土) 文学館カレッジ (愉快に川柳講座Ⅷ、講師：岡崎守)
- 2月22日 (土) ギャラリー・ツアー

III 公益財団法人北海道文学館役員名簿

(令和2年3月31日現在)

顧問	池澤 夏樹	加藤 幸子	木原 直彦	小檜山 博	神谷 忠孝	荒巻 義雄
	李 恢成	工藤 正廣				<8名>
参与	加藤 多一	木村真佐幸	小杉 捷七	佐々木 譲	高畠 二郎	藤堂志津子
	永井 浩	原子 修	村田 俊秋	吉田 秋陽	辻脇 系一	谷 暎子
	出村 文理	野坂 幸弘	源 鬼彦	内田 弘	岡崎 守	本田 優子
	酒向 憲司					<19名>

役職員

理事長 1	平 原 一 良	監 事 1	中 村 孝 一	評 議 員 1	青 柳 文 吉
副理事長 2	柴 村 一 紀	// 2	森 一 生	// 2	阿知良 光 治
// 3	谷 口 孝 男			// 3	石 本 裕 之
// 4	武 田 信 吾			// 4	飯 塚 優 子
専務理事 5	野 村 信 三			// 5	植 松 美 由 紀
常務理事 6	高 塚 信 之			// 6	岡 美 紗 緒
理 事 7	浅 川 泰 彦			// 7	岸 美 千 代
// 8	五十嵐 秀 彦			// 8	熊 谷 ユリヤ
// 9	國 松 明 日 香			// 9	佐 藤 芳 行
// 10	澤 田 展 人			// 10	柴 田 望 平
// 11	瀬 戸 正 昭			// 11	田 口 耕 平
// 12	高 橋 秀 明 夫			// 12	田 中 綾 一
// 13	立 花 峰 夫			// 13	田 村 英 岬
// 14	中 澤 千 磨 夫			// 14	田 湯 文 惠
// 15	前 川 公 美 夫			// 15	寺 田 寛 隆
// 16	三 浦 幸 司 吾			// 16	中 館 村 三 春
// 17	安 高 誠 明 彦			// 17	中 橋 本 征 子
// 18	若 宮 明 由 美			// 18	橋 本 尚 温
// 19	和 田 由 美			// 19	日 野 尚 温
				// 20	平 野 温 美
				// 21	横 田 由 紀 子

収集資料選定委員会

副理事長	柴 村 紀 代	代理	吉 隆 司 吾
参与	出 村 文 文		
評議員	青 柳 文 文		
評議員	中 館 寛 隆		
理事	三 浦 幸 司		
理事	安 高 誠 明		

企画検討委員会

理事長	平 原 一 良
副理事長	柴 村 一 紀
副理事	谷 口 孝 男
副理事	武 田 信 吾
評議員	飯 塚 優 子
理事	五十嵐 秀 彦
理事	瀬 戸 正 昭
理事	高 橋 秀 明 夫
理事	中 澤 千 磨 夫
理事	野 村 六 三
理事	安 高 誠 明 彦